

1 研究題目

Barthel Index(BI)と予後の関連に関する後ろ向き研究

2 研究の対象

当院入院終末期がん患者を対象

3 研究目的

終末期がん患者のBIと予後の関連について電子カルテにより、後ろ向きに調査し、BIと予後の関連性を検討する。

当院入院終末期がん患者を対象とし、患者背景（性格、年齢、原発部位、入院目的入院期間など）及びBIを含む臨床情報について調査する。また、BIと既存の予後指標であるGlasgow Prognostic Score(GPS)と比較する。

本研究は後ろ向きの観察研究であり、既存資料のみを用いる。すなわち、過去のカルテデータのみを使用し、新たなデータは取得しない。

調査情報は厳重に取扱い、個人情報漏洩しないよう厳重に管理する。

調査結果は、個人を特定できない形で関連の学会へ発表及び学術雑誌へ論文にて発表する予定である。

4 研究期間

倫理委員会承認後～未定

5 研究に用いる試料・情報の種類

性別、年齢、原発部位、入院目的入院期間、及びBIを含む臨床情報等

6 研究責任者

薬剤師：岡崎 和子